

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家きくち館		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心して過ごせる居場所作りが出来ること	活動の流れが見える化し、安心して活動が取り組める環境作りを実践し、子供たち一人ひとりに寄り添った声掛けを行っております。	利用者家族との情報共有やSNS等で活動の様子を配信し、「見える化」をより図ってまいります。
2	豊富なレクリエーションによる療育活動が広いこと	子ども達の年齢や発達段階に合わせて活動内容を調整し、苦手意識の強い子どもにも参加しやすいようにルール作りを行っております。	他事業所との連携も図っていき、地域交流や児童の交流の場を充実させてまいります。
3	小集団で実践的な経験が積みやすいこと	子ども達の特性や相性に合わせてグループ編成を行い、苦手意識の強い子どもにも参加しやすくしております。また、少人数で活動することで安心して発言や挑戦が出来る環境作りを行っております。	運動・学習・SST・創作活動などを通して成功体験を増やし多様な支援が出来るように取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や交流会の開催	保護者の仕事や開催時の会場・日時の調整等の課題があり現状では開催出来ていません。	今後も開催時間・場所や方法を検討してまいります。
2	地域・他事業所との交流	地域交流の機会の確保、活動内容の調整、安全面への配慮といった事が課題になっています。また、開催に際しての場所の確保が必要です。	今後は関係機関との連携強化を図り、安心して参加できる交流の機会を充実してまいります。
3	利用児童・人員の体制の強化	利用児童のニーズの多様性に伴い、子ども一人ひとりに対する支援や計画が求められております。また、それに伴った、職員のさらなる専門性の向上が必要です。	事業所内での研修のみならず、外部研修への参加とも行い、より高いスキルの取得を行ってまいります。また、これまでより職員間の情報共有・連携強化を図ってまいります。